

「消費税還付申告」 学習スケジュール

日 程	学 習 テ ー マ		内 容
第 1 回	第 1 章	テーマ 0 テキストの構成 テーマ 1 消費税とは テーマ 2 内国消費税とは テーマ 3 納税の仕組み（国内取引）	消費税の基本的な仕組みについて確認します。
		テーマ 1 課税対象取引 テーマ 2 課税取引・非課税取引 テーマ 3 免税取引（輸出取引）	課税取引、非課税取引、免税取引の内容など消費税の課否区分について確認します。
		テーマ 1 納税義務の判定方法 テーマ 2 課税事業者の選択	納税義務の判定について確認します。
		テーマ 1 仕入税額控除 テーマ 2 課税仕入れ等の判定 テーマ 3 課税売上割合 テーマ 4 帳簿等の保存 テーマ 5 課税売上割合の著しい変動	原則課税による控除対象仕入税額の計算方法について、課税売上割合が著しく変動した場合の調整を含め確認します。
第 2 回	第 5 章	テーマ 1 簡易課税制度の選択 テーマ 2 みなし仕入率	簡易課税制度の仕組みについて確認します。
		テーマ 1 平成22年度改正 テーマ 2 平成28年度改正	還付申告に関連する過去の改正点について確認します。
第 3 回	第 7 章	テーマ 1 事業開始 テーマ 2 輸出業者 テーマ 3 設備投資や不動産購入	消費税の還付事例について確認します。
		テーマ 1 確定申告書と付表の関係 テーマ 2 練習問題	還付申告書の具体的な記載内容について確認します。

■本テキストの内容及び関係法令書類につきましては、平成31年4月1日に確定している法令等に基づき作成しております。

「消費税還付申告」

CONTENTS

第1章 消費税の仕組み

テーマ0 テキストの構成	2
■テキストの構成を知る！	
テーマ1 消費税とは	4
■消費税は一言でいえば買い物税！	
テーマ2 内国消費税とは	6
■内国消費税とは日本で課税される消費税！	
テーマ3 納税の仕組み（国内取引）	8
■消費税を負担するのは消費者！	

第2章 取引の分類

テーマ1 課税対象取引	26
■消費税の対象取引は買い物行為！	
テーマ2 課税取引・非課税取引	32
■課税取引は無限・非課税取引は限定列举！	
テーマ3 免税取引（輸出取引）	34
■輸出品等には消費税は課税されない！	

第3章 納税義務者

テーマ1 納税義務の判定方法 42

■基準期間における課税売上高の計算は！

テーマ2 課税事業者の選択 52

■還付になる場合には課税事業者を選択！

第4章 控除対象仕入税額（原則課税）

テーマ1 仕入税額控除 68

■支払った消費税は申告書で控除！

テーマ2 課税仕入れ等の判定 70

■課税仕入れ等の確定が重要！

テーマ3 課税売上割合 74

■非課税売上高が大きいときは要注意！

テーマ4 帳簿等の保存 88

■原則課税は帳簿等の保存が必要！

テーマ5 課税売上割合の著しい変動 92

■調整対象固定資産を取得した場合は注意！

第5章 控除対象仕入税額（簡易課税）

テーマ1 簡易課税制度の選択 98

■計算が煩雑な場合等には簡易課税を選択！

テーマ2 みなし仕入率 104

■みなし仕入率を研究する！

第6章 平成22年度28年度改正

テーマ1 平成22年度改正 110

■自動販売機を使用した還付スキーム対策！

テーマ2 平成28年度改正 120

■高額特定資産を購入した場合！

第7章 還付事例

テーマ1 事業開始 128

■仕入や経費が多く、赤字の場合も！

テーマ2 輸出業者 138

■免税売上げに対応する課税仕入れ等は！

テーマ3 設備投資や不動産購入 142

■調整対象固定資産や高額特定資産の購入！

第8章 還付申告書の記載要領

テーマ1 確定申告書と付表の関係 150

■付表は計算明細書！

テーマ2 練習問題 162

■還付申告に関する明細書の記入を確認する！

0

テキストの構成

テキストの構成を知る！

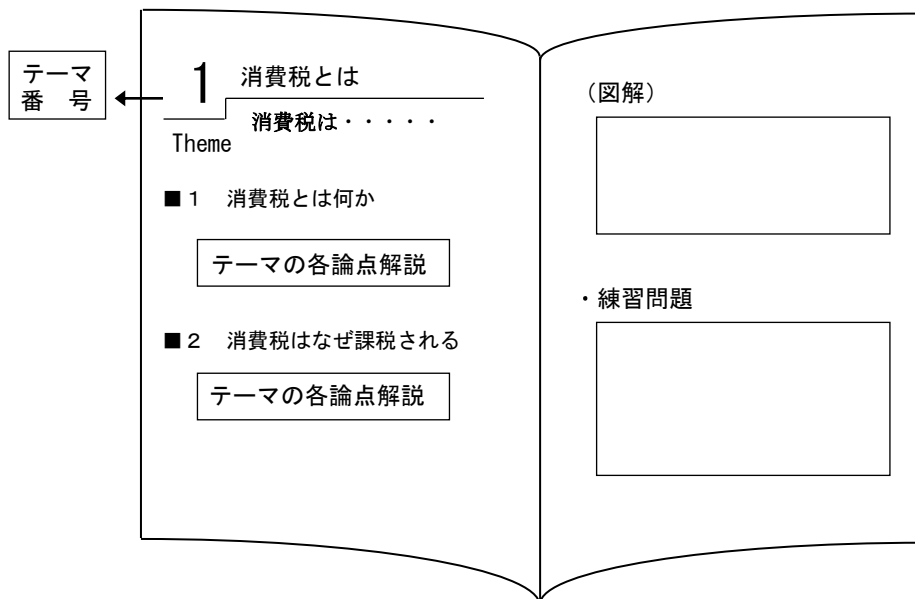
Theme

■ 1 消費税還付申告の学習を始めるにあたって

消費税の還付を受けるためには、課税事業者になっていることや簡易課税制度の適用を受けていない事業者であることなど、いくつかの条件が備わっていなければなりません。

本講座では、法律的内容を交えながら消費税の還付を受けるための条件や手続きについて解説していきます。

・ レジユメの構成



第 1 章 消費税の仕組み

- メモ欄

--

1

消費税とは

消費税は一言でいえば買い物税！

Theme

■ 1 消費税とは何か

まず、はじめに消費税でいうところの消費とは、皆さんが毎日行う「買い物」と考えてみてください。

百貨店で食料や衣料品を買う。書店で本を買う。すべて普段の「買い物」です。

そして、このような「買い物」の先には「消費」という行為が存在します。ご飯を食べる。服を着る。本を読む。すべて広い意味での「消費行為」と呼ぶことができます。

消費税では、これらの「買い物」を「消費」の前提取引と考えて、「買い物」の時点で一律に10%の税を徴収することになっているのです。

■ 2 消費税はなぜ課税される

次に、消費税が課税される理由について考えてみましょう。

この理由は単純なもので「買い物」できる人はお金を持っているのだから、購入代金の10%ぐらいは消費税を負担し、財政に協力してください、というものです。

裏を返せば、消費税を負担するのは皆さん消費者一人一人ということにもなるのです。

その結果として、平成元年に消費税が導入されてからは、皆さんは財布からお金を出すたびに消費税を負担していることになるわけです。

• 消費の具体的な行為

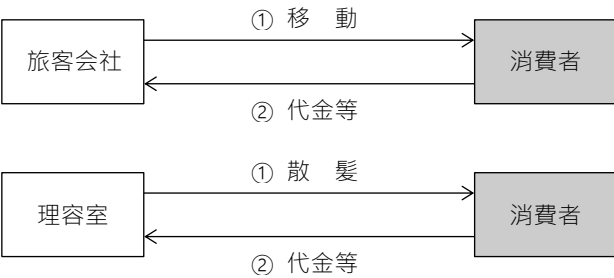
(1) 商品等の消費・使用

皆さんが食料や衣料品などを購入する行為がこれにあたります。



(2) サービスの消費・使用

皆さんが電車に乗ったり、理容室で髪を切ってもらう行為がこれにあたります。



2

内国消費税とは

内国消費税とは日本で課税される消費税！

Theme

■ 1 内国消費税の対象とされる取引

内国消費税とは、文字どおり日本国内で課される消費税のことをいうのですが、考え方としては次のようになります。

消費税は前述したとおり「消費」の事実に着目して課税が行われるものですから、消費された国で、その国の消費税が課税されるべきです。

具体的に日本で消費が認識される取引については、日本の消費税の対象とされますし、アメリカで消費が認識される取引については、アメリカの消費税の対象とされます。

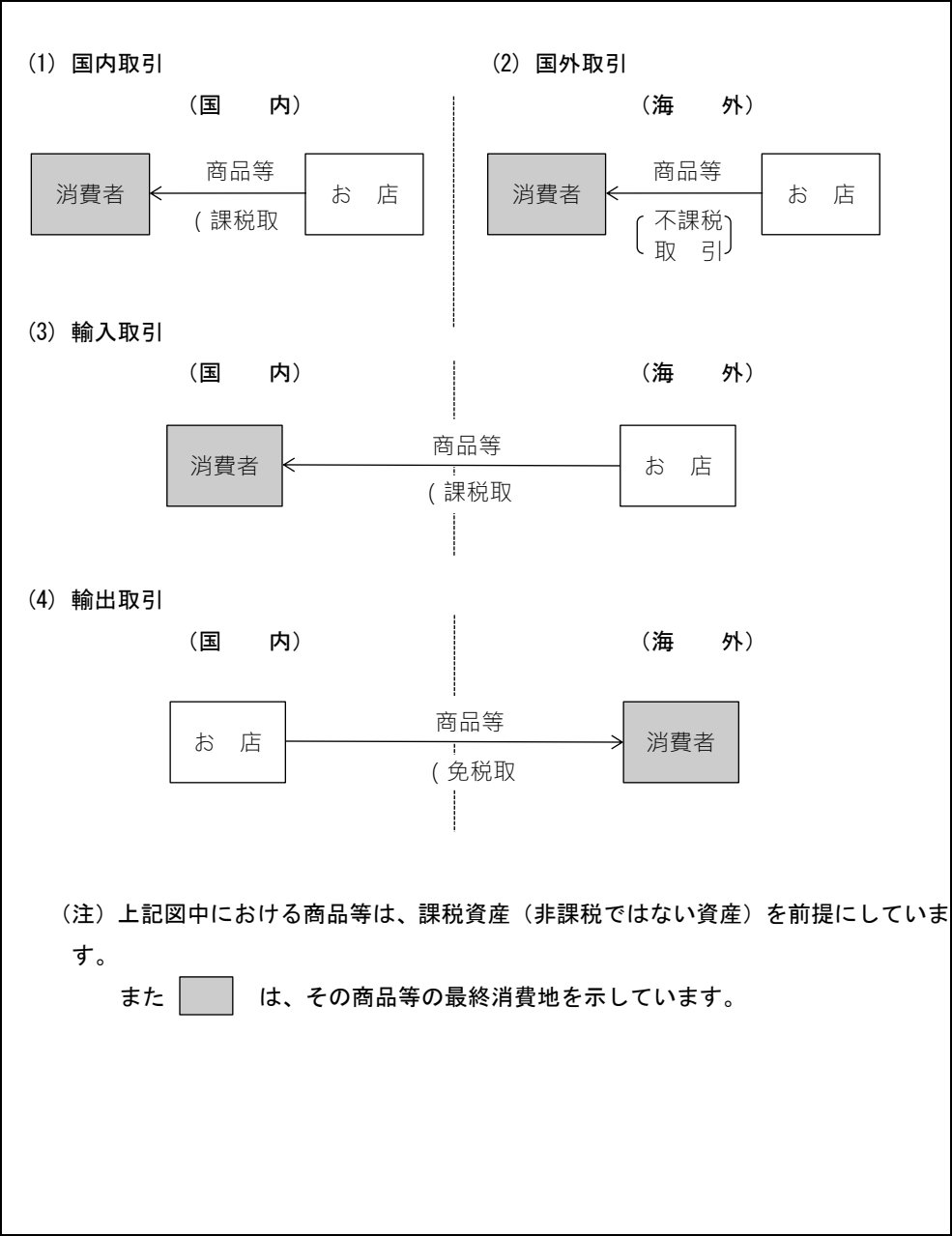
従って、取引全体を(1)国内取引、(2)国外取引、(3)輸入取引、(4)輸出取引の4つに大別した場合、単純に日本の消費税が課税されるのは(1)の国内取引と(3)の輸入取引ということになるわけです（次頁参照）。

なお、本書においては「内国消費税」を以後、「消費税」と記載しています。

■ 2 輸出取引

輸出取引は、最終的な商品等の消費地が海外であることから、日本の消費税は免除することとされており、消費税では特に「免税取引」と呼んでいます。

• 国際間にわたる取引



3

納税の仕組み(国内取引)

消費税を負担するのは消費者！

Theme

■ 1 消費税の流れ 1

消費税は、次頁(1)の図のように事業者の販売する商品等の販売価格に上乗せさせて最終的に商品等を消費する消費者に負担させる形式をとっています。

■ 2 消費税の流れ 2

取引が多段階にわたる場合には、次頁(2)の図のように事業者が商品等の販売を行う都度、販売先から消費税を預かり、実質的に手元に残った消費税を税務署に納める形式をとっています。

つまり同一の商品等に二重三重に税が課税されないように流通の各段階において、各々の事業者が「販売先から預った消費税」から、「購入先に支払った消費税」を控除した残額を納付することになっています。

結果、次頁(2)の図において税務署に納付される消費税の累計額は(1,000円)となり、この負担は実質的に消費者が負っていることになるわけです。

裏を返せば、事業者は販売先から預かった消費税を、消費者に代わり間接的に税務署に納付するだけなので、原則的に消費税を負担することはないわけです。

なお、国に納める消費税の税率は7.8%とされていますが、この他に地方自治体に対して2.2%の税率で消費税を納めなければならないため、事業者は7.8%分と2.2%分を合わせた10%相当分を消費者から徴収します。

• 納税の仕組み

